

## 新年のご挨拶

(平成24年一般社団法人情報サービス産業協会新年賀詞交歓会より)

一般社団法人 情報サービス産業協会  
会長 浜口 友一

皆さま明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今日はこんなにたくさんの方々にご出席いただき、ありがとうございます。また、永塚局長をはじめ経済産業省の幹部の皆様、関連団体の幹部の皆様にもお越しいただき、改めて感謝を申し上げます。

今年は静かに滑り出したということではっております。私どもの業界の今年が一番の仕事は、昨年の震災の復興事業に何とかお役に立ちたいということです。いま政府の方でいろいろな復興のプランが作られていますが、ぜひ復興事業の中でITを含めたモデルになるようなプロジェクトをやっていければ大変ありがたいと思っています。昨年暮れの日中懇談会では中国の幹部の方に「日本にはいろいろ規制があるでしょう。中国はそういうのがないから、是非中国に来てやってはどうですか」と言われました。確かにそういう方法もあるかもしれませんが、ぜひ日本の中でもいろいろな業界を含めた規制をそれこそ特区で取り除いていただき、私どももスマートコミュニティなどいろいろなことをやりたいと思っています。医療などにつきましても、JISAでは医療ネットワークの提案をしておりますので、ぜひよろしくお願したいと思います。



それから震災直後の危機感が若干薄れているかと思いますが、やはりBCPをきちんとやっていかななくてはならないと思っています。昨年アメリカに行ってマリオットの危機管理担当副社長と話をしてきたのですが、かなりきちんとしたことをやられている。いちばんびっくりしたのは、世界に約三千のホテルがあるそうですが、各国の政府や行政機関を含めてインテリジェンスに関するような情報もかなり公開している。もちろんマニュアルはきちんとしていて、スマートフォンで見られるようになっていて、各ホテルは自家発電を備えていて衛星電話を装備している。本社に24時間365日対応の要員が常駐している。このようにきちんとした取り組みをいろいろされているということで、私どももお客様も含めてBCPの体制をもう一度きちんと点検していく必要があるのではないかと思います。

経済状況は、ご承知のようにEUの方がどうなるんだろうかということが今年  
の一番の問題です。また今年（世界の）選挙の年と言われております。このよ  
うに何が起こるかわからない年ですけれども、私ども業界もいろいろな変化に対  
して迅速に対応できるよう構造改革をやっていかななくてはならないと考えていま  
す。構造改革の方針もJISAで出しておりますので、ぜひ参考にさせていただけた  
らと思っています。

ICT業界では、最近いろいろなキーワードがございます。たとえばクラウド、  
ソーシャルメディア、スマートコミュニティ、M2M、ビッグデータの処理、あ  
るいはグローバル化といったことです。一、二点申し上げますと、クラウドはい  
わゆるバズワードと言うことで数年前からいろいろなことが言われてきましたが、  
最近の状況を見ますと、ようやく本格的なクラウドが今年あたりは出てくるん  
じゃないかと思っています。私が思っております本格的なクラウドというのは、  
まずひとつはリソースが無限に近く使えるということ。もうひとつは業務アプリ  
ケーションのかなりの部分が共通で使えるということですが、そういうものが今  
年はかなり出てくるのではないかと。もう一点はやはりサイバーセキュリティです。  
これだけのインターネット社会になりますと、その負の側面に対してわれわれ業  
界がどのように対応していくかということが今年には非常に重要な事項であるだろ  
うと考えています。

ぜひ皆様のご支援・ご指導でなんとかこの乱世の年を乗り切っていきたい  
と思っています。皆様のご協力をお願いしまして、私の新年のご挨拶に代え  
させていただきます。

（平成24年1月6日ホテルオークラ東京にて、文責：JISA事務局）